

令和2年度「群馬ふるさとづくり賞」の決定について

群馬県地域づくり協議会では、独自の優れた地域づくり活動で大きな成果をあげている県内の団体を「群馬ふるさとづくり賞」として毎年顕彰しています。

地域住民が自主的に結成・運営している地域活動団体や、地域活動団体と積極的に連携して地域づくり活動に取り組む商店街、学校等を対象に公募し、書類審査とプレゼンテーションにより今年度の受賞団体を決定しました。

1 受賞団体

【群馬ふるさとづくり賞】 リンカーズ（みなかみ町）

2017年から山林所有者のほか、農家や自営業者、観光業者や公務員などの地域住民自らが、山林を管理する「自伐型林業」を行っている。

【群馬ふるさとづくり奨励賞】 野外活動グループ「^{いなふくみじゆく}稲含塾」（甘楽町）

2008年から甘楽町の子どもたちを対象とした登山、川遊び、廃校舎でのキャンプ等様々な自然体験活動を実践している。

※両団体の活動内容は、別紙のとおり。

2 表彰状の授与

新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式は行いません。受賞団体には、次の日程で群馬県地域づくり協議会長から個別に表彰状等の授与を行います。

- ・リンカーズ 8月11日（火） 10時40分～ みなかみ町役場
- ・野外活動グループ「稲含塾」 8月11日（火） 14時30分～ 甘楽町役場

3 その他

- ・審査会でのプレゼンテーション内容は、後日、群馬県のYouTubeチャンネル「tsulunos（ツルノス）」で配信する予定です。
- ・受賞団体は、毎年、公益財団法人あしたの日本を創る協会等が主催する「あしたのまち・くらしづくり活動賞」に推薦します。

（参考）群馬県地域づくり協議会

群馬県地域づくり協議会は、地域づくり団体と県・市町村で組織された協議会で、地域の特色を活かした個性的で魅力的な地域づくりを支援するため、各種事業を行っています。

会長：椎名祐司（みどり市 NPO 法人ながめ黒子の会 隠密頭） 事務局：群馬県地域創生課

【群馬ふるさとづくり賞】 リンカーズ（みなかみ町）

（活動概要）

町が主催する林業研修会への参加がきっかけで、2017年に活動開始。山林所有者のほか、農家や自営業者、観光業者や公務員など20～70歳代の32名が活動している。

森林資源の利用が減少し、鳥獣害や景観の悪化、災害の危険性が生じている中で、所有者や地域住民自らが地域の森林整備や竹林整備、森林資源の有効活用を行う「自伐型林業」に取り組んでいる。

また、森林の整備だけでなく、伐採した木材や竹材を販売して資源の有効活用と活動財源の確保を図っているほか、木材の加工や木に触れる機会の創出など、子どもへの「木育（もくいく）」の推進にも取り組んでいる。

今回の受賞は、様々な職種の幅広い世代の地域住民が参加し、森林整備や森林資源の有効活用から「木育」までをつなげたユニークな活動が評価されたものである。



【群馬ふるさとづくり奨励賞】 野外活動グループ「いなふくみじゆく稲含塾」（甘楽町）

（活動概要）

2008年から活動開始。小学生や卒業生の保護者がスタッフとして参画し、約20名で運営している。

団体名の由来となった地元の稲含山への登山、川遊び、廃校舎でのキャンプなど、年間を通して自然体験活動を行い、毎年延べ約400人の甘楽町内の小学生が体験活動に参加している。

自然を身近に感じ、地域の豊かさを肌身に刻んでもらうことで、子どもたちの豊かな心とふるさとへの愛着を育んでいる。また、子どもだけではなく、保護者にとっても地元の魅力を発見することにつながっている。

今回の受賞は、このような自然体験を通して、保護者世代から子どもたちへ、ふるさとの魅力や人とのつながりを感じてもらおう取組が、10年以上に渡り継続されていることを評価されたものである。

